

農林水産業費 36億1,810万円

■集落営農・担い手支援事業 1億3,989万円

国県補助事業を活用し、持続可能な農業の実現に向け、農業用機械等の導入や農地の集積、新規就農者などに支援を行い、地域担い手の確保を図りました。

■販売網構築事業 3,101万円

佐渡産品の販路拡大のためのプロモーション企画や商談会への参加および営業活動の推進を行いました。

また、朱鷺と暮らす郷の取扱米穀店を対象に、販売促進キャンペーンを行うとともに、おにぎり屋の運営や規格外おけさ柿の販売など新たな販路開拓を行い取引につなげました。



朱鷺と暮らす郷を使ったおにぎりを東京駅で販売

商工費 14億253万円

■観光地域づくり推進事業 8,055万円

佐渡版DMOの体制構築に向け、外部人材の登用や観光地域づくりに向けた取り組みを支援するとともに、効果的な観光戦略の策定に向け、各種観光データの調査・分析を行いました。



土木費 42億732万円

■安全安心まちづくり事業 1億7,797万円

道路および河川等の修繕など、主に各集落（地域）からの身近で比較的小規模な要望に対し、広域的なバランスに配慮しつつ早期の工事発注で、市民の生活環境改善および継続的な雇用の確保を図りました。

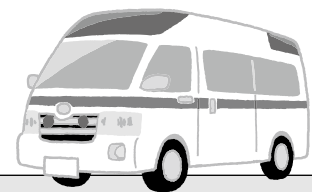
高齢化で実施が難しくなった市道等の維持管理作業を、地元建設業者に請け負わせることで、受注機会も確保しながら業者のさらなる地域貢献を促し、高齢化地域の生活環境の維持を図りました。



消防費 20億5,435万円

■救急救命対策事業 366万円

救急需要の増加および多様化、救急医療の高度化等に対応するため、救急救命士を育成するとともに、救急救命士が行う応急処置の知識、技術を医学的観点から維持・向上させる体制の整備を図りました。



教育費 29億1,031万円

■奨学金貸与事業 1億3,578万円

教育の機会均等を図り、本市の発展に資する有能な人材を育成するとともに、将来にわたる定住を促すため、奨学金の貸与を行いました。

■佐渡学推進事業 5,816万円

佐渡奉行所を活用した「佐渡鈍翁茶会 2018」、「佐渡民謡の祝祭」、新穂歴史民俗資料館を活用した「のろま人形上演会」を開催しました。

佐渡の多様な伝統文化の保存・継承・活用を推進するとともに、芸術・文化の高揚を図り、市民生活の向上と文化の発展に寄与することを目的に、平成30年7月2日に「佐渡文化財団」を設立し、佐渡文化財団が行った伝統芸能、伝統技術・建築および伝統工芸の保存・継承・活用事業にかかる事業に補助しました。



佐渡奉行所で行われた佐渡民謡の祝祭